

日野市立教育センター所報

教育センターだより

第5号 平成17年6月15日



日野市立教育センター

〒191-0042 日野市程久保550

TEL 042-592-0505

FAX 042-592-1148

※一般教育相談 592-1160 (10時～17時)

※わかば教室 592-0863

開館時間 午前8時30分～午後5時15分



新たな教育課題や

市民のニーズに応える活動を目指して

日野市立教育センター 所 長 篠原 昭雄

教育への要望や家庭環境を含めた社会の変化を反映してか、新たな教育課題や教育に対する市民のニーズは、ますます増える傾向にあります。それらに応え、日野市の教育の充実と振興を図るために教育センターが開設されて2年目に入りました。教育関係者や市民の方々のご理解とご支援のお陰で教育センターの活動も次第に軌道にのってきました。本年度も調査研究、研修、相談の三つの部を中心に、新たな事業を進めています。

調査研究部は、当面する教育課題や施策に情報を提供するシンクタンクとしての役割を持ちますが、前年度は教育課程、環境教育と「ひのっ子エコアクション」、加配教員等の効果的活用のための少人数指導、地域教育推進および「ひのっ子教育21研究員」の研究を行いました。本年度は、いま日野市の教育にとって重要な課題である**教育課程**（幼稚園と小学校および小・中学校教育の円滑な接続・一貫性）の**研究、ICT**（情報コミュニケーション技術）**活用**（計画・推進）に関する**研究、地域運営学校**（コミュニティ・スクール）の**研究**、学校における日野の**郷土教育**および地域の教育力を活用する**地域教育**推進の研究、それに「ひのっ子教育21研究員“基礎基本の定着”」の研究を進めています。これらの新機軸事業も財政状況を含め限られた条件の中で進めるには、多くの関係者の協力が欠かせません。そのために、学校教育はじめ社会教育や地域の教育力のご協力をいただき、いわば“協働方式”を取り入れ、研究委員会をつくって行っています。

研修部は、**教職員研修と地域の教育リーダー研修**を行っています。

前者は、学校課で企画された初任者研修、学習指導、教育課題、2・3年次教員授業力アップ、特別支援教育、幼児教育、教育相談などの研修等を指導主事と所員が実施しています。また、本年度はすべての教員が授業でコンピューターを活用できることを目指した**ICT活用研修**や**e-Learningによる研修**も行います。

後者は、子どもたちの地域での教育や学習をサポートするため、社会教育関係者や育成会、PTAなどの関係者の協力を得て行うものです。

相談部のうち、**一般教育相談**は、子どもの成育や行動、いじめや悩みなどの相談に専門の相談員が当たり、また、“子ども心の電話相談”も行っています。

学校生活相談は、さまざまな理由で学校に行けなくなった児童・生徒に安心して過ごせる学びの場「**適応指導＝わかば教室**」を提供して教育するとともに、学校に復帰するための援助や将来の社会的自立に向けた支援を行っています。

以上の事業は、日野市の重要な教育課題や市民のニーズに対応するものです。いずれも荷の重い事業ですが、教育センター所員は協力し合ってこれらの課題に挑戦しています。教育センターの事業にご理解とご支援をお願いいたします。

一事業内容一

I 調査研究部

(基礎調査研究係)

五つの調査研究の中間報告会は、10月6日(木)、教育センターで行います。

1 教育課程(カリキュラム)研究

幼稚園・小学校・中学校教育の接続と一貫性

* 目的・内容

日野市教育委員会の教育目標・基本方針・主な施策から、特に、今年度は日野市の教育課題として求められる「幼稚園・小学校・中学校の教育接続と一貫性」のあり方について研究します。具体的には、研究主題を「異校種間の円滑な接続を図るための研究」とし、

- ・就学前教育と義務教育の円滑な接続・一貫性について、幼稚園・小学校の教育内容・方法等を取り上げて研究します。
- ・小学校教育と中学校教育の円滑な接続、特に中学校入学後の学習や生活への円滑な移行を図るために、小学校・中学校の教育内容・方法等を取り上げて研究します。

* 運営・組織

一つの幼稚園と二つの小学校及び一つの中学校の教員と指導主事、学識経験者で教育課程(カリキュラム)研究委員会を構成し、研究・報告・発表をします。

- ・委員長 吉村正久校長(大坂上中学校)
- ・副委員長 倉本智恵子園長(第七幼稚園)

2 ICT 活用に関する研究

(基礎調査研究係)

* 目的

これからの時代は、高度情報化社会です。「最新の情報を、いつでも、どこでも、だれでもが受信、利用、活用、発信」することとなります。この時代に生きる日野市の児童・生徒にeラーニング(パソコンやインターネットを利用・活用した教育)を推進することは、市内学校教育の大きな課題であります。日々の学校現場、授業において、eラーニングが行われることが、市内児童・生徒のITリテラシー、IT感覚を育てることにつながります。そこで、本年度は、モデル校の実践とも関わって、ICT活用研究委員会を設置し、市内小・中学校へのICT教育の導入、普及の計画及びその活用について研究を進めます。

* 内容・方法

- ・学校教育におけるICTの活用計画について研究します。
- ・モデル校及び情報教育推進委員会への情報提供と助言を行います。

とりわけ本年度は、モデル校(夢ヶ丘小、日野第四小)への校内LANの導入とその活用、ICT教育環境の策定と整備、セキュリティ・ポリシーの確立にポイントをしぼり、事業を進めていきます。

* 組織

本活用研究委員長は夢ヶ丘小学校長 河野和昌、副委員長は日野第四小学校副校長 橋本忠明です。学識経験者(信州大学 東原 義訓 教授)、総務部情報システム課職員、教育委員会教育部庶務課職員、市内小中学校で組織する情報教育推進委員会委員長、事務局として、教育委員会学校課職員・指導主事・教育センター所員等が研究員として加わっています。

3 地域運営学校(コミュニティ・スクール)の研究

(教育経営係)

* 目 的

学校経営に地域の意向を反映する「地域運営学校(コミュニティ・スクール)」の在り方の究明が求められています。日野市における地域運営学校の在り方について、性格、組織、運営の側面から調査研究し、それらに関する課題や問題を明らかにするとともに、その導入の仕方について研究を進めます。

* 内容・方法

- ① 地域運営学校とは何か。性格、組織、運営について先行例を参考にして明確にします。
- ② 学校運営の実際を分析・整理し、そこに地域の意向を反映させる方途について研究します。
- ③ 日野市の地域の実態に即した適切な地域運営の在り方を明らかにします。

* 組織・運営

教育委員会、校長、副校長、指導主事、教育センター所員で研究委員会を編成します。行政担当者を中心に各委員が調査研究したものを検討しながら、日野市におけるこの課題を研究していきます。

4 ひのっ子教育21研究

(教科等教育係)

* 目 的

「日野市教育委員会にひのっ子教育21研究員会を置き、日野市における学校教育の振興を図る。」という目的が、ひのっ子教育21研究員会研究事業実施要項第1条に述べられています。ひのっ子教育21研究員会は、本市独自の制度で、今年度8年目を迎えます。

* 内 容

実施要綱第2条に、「研究員会の研究員は、日野市教育委員会教育目標の達成を目指し、幼児教育、教科領域等の教育内容・教育方法の実践的研究を行う。」とあり、幼児・児童・生徒に直接結びつく授業実践を通しての研究の成果を求めています。本年度は、研究の窓口を、環境(幼稚園)・理科(小・中学校)とし、26名の研究員が、下記のように4部会・4サブテーマで研究を進めます。 中間発表は、8月24日(水)教育センターで行います。

共通テーマ	「基礎・基本を確実に定着させるための授業・保育の改善」
幼稚園部会	保育環境の改善を中心に
小学校A部会	学習方略の改善(グループ学習・共同学習等の多様な指導法)を中心に
小学校B部会	学習方略の改善(グループ学習・共同学習・個別学習等の多様な指導法)を中心に
中学校部会	学習方略の改善(グループ学習・共同学習・個別学習等の多様な指導法)を中心に

* 運営組織

会 長：大門 康雄校長(日野第八小学校)

副会長：井上 宏子園長(日野第三幼稚園) 山田 悟志校長(日野第二中学校)

顧問：太田由紀夫校長(滝合小学校)

* 今後の研究活動予定

8月1～2日 宿泊研究集会

8月 24日 研究中間発表会

2月 23日 研究発表会(平成18年)

5 郷土教育推進研究

(ふるさと教育係)

* 目 的

日野市の学校教育において郷土教育を推進するため、「郷土教育推進研究委員会」を設置し、次の３点について調査・研究をします。

- ① 各教科等における郷土日野の教材開発及び学習指導法について研究します。
- ② 日野市の学校副読本や郷土資料の活用について、調査・研究します。
- ③ 「日野市郷土資料館」『新選組のふるさと歴史館』等の活用について研究します。

* 内容・方法

- ① 学習指導要領並びに年間指導計画における郷土教材活用の位置づけを調べます。
- ② 学校副読本や郷土諸資料の活用に関する実態調査並びにその考察をします。
- ③ 郷土資料館、新選組のふるさと歴史館の活用の仕方について調査・研究をします。
- ④ 既存の学校副読本や、郷土諸資料の収集並びに郷土教材を開発し、教科指導等の指導計画との関連付けを図ります。
- ⑤ ふるさと日野の特色をあらわし、市内の各学校が活用できる「郷土教材指導事例集」を作成し、提供します。

* 組織・運営

学校（小学校校長・教諭、中学校校長・教諭）、日野市郷土資料館（学芸員）、新選組のふるさと歴史館、学識経験者、教育委員会学校課（指導主事）、教育センター所員による構成で研究組織を編成し、運営します。

- ・委員長 小杉博司（日野第一小学校校長）
- ・副委員長 秋山譲児（日野第四中学校校長）

6 地域教育推進研究

(生涯学習係)

* 目 的

地域全体が、地域に育つ子どもたちの教育や子育てに関する課題を共有し、教育や学習の場を提供することが求められています。学校・家庭・地域が連携・協働して総合的な教育力を発揮し、「子どもたちの学ぶ喜びを育む」ことを研究していきます。

* 内 容

前年度実施したパネルディスカッションの中で課題となったことを四つの分科会にして、研究をしていきます。

- ・ネットワークづくりをどのようにしていくか。
- ・活動を活発にする学校・教員・保護者の動きやすい環境づくり、地域活動を活性化するためにはどうすればよいか。
- ・参加を促す魅力ある活動をどのように創っていくか。
- ・リーダー養成講座を含めて、研修システムをどのように進めていくか。

* 組織・運営

- ・委員長 品田 敏男（日野第四小学校長）
- ・副委員長 正留 久巳（平山中校長）
- ・委 員 若松 寅夫（遊学会会長） 荻野 治雄（社会教育委員）
- 谷 和彦（PTA 会長） 濱屋 浩（市 P 協会会長）
- 奥住日出男（育成会長） 白尾 美佳（実践女子短大助教授）
- 齋藤 秀明（公民館長） 辻 正信（郷土資料館）
- 徳田 雅信（文化スポーツ課） 梶野 昭信（教育委員会指導主事）
- 斎藤 正子・吉野美智子（教育センター所員）

Ⅱ 研修部

平成17年度日野市教育委員会、日野市立教育センター主催の各種研修会は、4月からスタートしています。役職や経験者等対象の研修のように参加が義務づけられていない（自由に参加できる）研修会を紹介します。

（Ⅰ表）

（1）教育課題研修（幼稚園、小・中学校教員）

番号	開催日	主 題
3	8月4日（水）午前	郷土教育 （日野市の地域教材）
4	8月5日（金）午前	国際理解教育（小・英語活動）
5	8月4日（水）全日	生命尊重教育（多摩動物園公園 2 日間） 実習・講義・観察
3	8月5日（金）全日	
7	10月14日（金）午後	人権教育 （授業研究）

（2）教科専門研修（小・中学校教員）

番号	開催日	教 科 別
1	7月22日（金）午前	小・中教員 全員参加
2	7月22日（金）午後	小・中教員 全員参加
3	7月25日（月）午前	(小)国語・理科・音楽 (中)国語・理科・音楽
4	7月25日（月）午後	(小)社会・生活・体育 (中)社会・英語・保健体育
5	7月26日（火）午前	(小)算数・家庭・図工 (中)数学・美術・技術家庭
6	7月26日（火）午後	総合的な学習（小・中合同）

（3）教育相談研修（幼稚園、小・中学校教員）

番号	開催日	主 題
1	8月4日（水）午後	構成的グループエンカウンターの演習
2	8月5日（金）午後	ロールプレイングの実際

（Ⅰ表）の参加申し込みについては、5月末日に終了しましたが、新たに研修参加を希望する方は、定員や募集の状況により特段の配慮をしますので所属長を通して担当指導主事（古家）までご連絡ください。

（Ⅱ表）

（1）ICT研修（夏季休業中）（幼稚園、小・中学校教員）

番号	開催日	程度	研修名	内 容
1	7月28日 (水) 全日	初級	I CT 活用研修	授業での活用Ⅰ （プレゼンテーションソフト活用） （3日間とも同一内容）
2	7月29日 (金) 全日			
3	8月25日 (水) 全日			
4	8月 8日 (月) 全日		I CT 基礎研修	文章作成
5	8月 9日 (火) 全日			表計算
6	8月10日 (水) 全日			画像処理（午前、午後とも同一内容）
7	8月19日 (金) 午前 午後	初級	I CT 活用研修	ホームページ作成指導（基本） ホームページ作成指導（応用）
8	8月22・23日 (月・火) 全日	中級		授業での活用Ⅱ（教材作成）
9	8月29日 (月) 全日		I CT 応用研修	プレゼンテーションソフト応用 （2日間とも同一内容）
10	8月30日 (火) 全日			

※ 参加申し込みは、初級、中級のどちらかから、選んで下さい。
（複数申込可）
※ 定員は、それぞれ30名です。

（2）幼児教育研修（幼稚園、小・学校教員）

番号	開催日	主 題
1	5月17日（火）午後	終了
2	6月29日（水）午後	義務教育へつなげる就学前教育
3	10月	授業研究（小学校生活科）
4	11月9日（水）午後	保育研究（幼・小合同研究）

（Ⅱ表）（1）夏季休業中のICT研修及び、
（2）幼児教育研修については、参加を募集中です。

申込については、各幼稚園、小・中学校に用紙が既に送付してありますので、記入後、所属長を通して担当に申し込んで下さい。

Ⅲ 相談部

平成16年度から、日野市立教育センター内に相談部として、一般教育相談係と適応指導「わかば教室」などを行う学校生活相談係が設けられて、相談事業を行っています。

1 一般教育相談

* 目的・内容

日野市に在住する一般市民及び幼児・児童・生徒の不登校やいじめなどの課題を解決するために来所による相談や電話相談等で教育相談に応じ、必要と認めて、治療を行っています。また、日野市教育委員会の相談関係の施策への援助を積極的に行います。さらに、日野市の幼稚園、小学校、中学校と連携を図り、教育相談に関する研究の推進と教育相談の浸透普及に努め、次の事業を行います。

(1) 教育相談の実施

- ・知能・学業・性格・身体・性癖・進路・適性等に関する相談活動
- ・幼児・児童・生徒の生活指導についての助言・援助
- ・市内公立幼稚園、小学校、中学校等における学校教育相談との連携
- ・心身に障害のある幼児、児童、生徒の就学（園）相談への協力

(2) 教育相談の外部諸機関、諸団体との連絡・情報交換

(3) 研究・研修などの教育相談活動の充実に関すること

(4) 適応指導教室との連携

◆ 相談方法

(1) 来所相談

◇事前に電話で予約していただき、指定させていただいた日、面談や諸検査等を通して、箱庭療法・コラージュ・プレイセラピー・動作法等を用いて相談を行います。

(2) 電話相談

- ・相談内容としては、性格、行動、進路
余暇、しつけ、性の問題等を扱います。

◆ 子どもこころの電話相談

(いじめ電話相談)

- ・幼児、児童、生徒、保護者、学校
関係者の電話相談に応じる。

教育相談は、毎週月曜日から金曜日

- ・午前10時から午後5時

・Tel 042-592-1160

・Fax 042-592-1148

※「子どもこころの電話相談」専用電話

042-492-2797

(土曜日・日曜日・祝日・年末・年始の
休業日を除きます)

○ 今年度の一般教育相談は、次のことを重点とします。

(1) スクールカウンセラーとの連携

小学校に相談員が全校に配置されたことで、ますます、学校との連携が重要になります。その連携の方法を探りながら推進していきます。

(2) 他機関との連携

市内や都内、また他の市の機関との連携もさらに推進していきます。

2 学校生活相談

学校生活相談係は、学校生活における精神的な悩み、人間関係での不満、不登校・登校渋り等、児童・生徒の環境をめぐる問題に関しての相談や支援、健全育成に関する調査並びに資料提供や助言を行っています。具体的には、

(1) 相談活動

学校生活上の問題や不登校に関する相談、適応指導教室「わかば教室」に入室している児童生徒への計画的・継続的な個別面談、ひきこもり傾向のある児童生徒への働きかけ

(2) 「わかば教室」通室児童・生徒への指導・支援

社会的自立及び学校復帰の援助

(3) 健全育成に関する調査・助言

長期欠席児童生徒の月別集計・考察、学校訪問、不登校児童生徒の早期発見と初期対応・予防

(4) 学校・家庭・地域との連携

適応指導教室連絡会、活動状況報告の送付、保護者面談・保護者会・授業参観・通信・地域ネットワーク連絡会・カウンセラー連絡会への参加等です。今年度は、嘱託員2名、カウンセラー1名、「わかば教室」指導員5名で業務に当たっています。「わかば教室」の毎日の学習・生活全般にわたって、学生ボランティアの協力があります。

適応指導教室「わかば教室」

適応指導教室「わかば教室」は、心理的要因により不登校の状況にある児童・生徒に対して、個別・小集団による指導を通し、適応能力を養い、学校復帰への援助を行うとともに、将来への社会的自立に向けて支援を行っています。

具体的には、「わかば教室」に通う児童生徒が、安心して学べる場であるよう努めながら、学習面や体力面、人間関係や生活面、進路に関して個々の状況に応じて、個別あるいは少人数による指導・支援をするとともに、各学校の担任や養護教諭、スクールカウンセラーなどの先生方と連絡を取り、学校とのつながりを大切にしています。

◇「わかば教室」の一日

朝の会〔歌・運動・読書〕で始まり、学習タイム〔国語・算数（小）数学（中）・社会・理科・英語（中）を中心に個に応じた学習指導〕、わかばタイム〔栽培、スポーツ、音楽、心の学習〕、ミーティング、面談（定期的なカウンセリング）の時程を組んで実施し、帰りの会で終わります。児童・生徒の状況に応じては、個別時程で指導・支援に当たっています。

◇「わかば教室」の行事

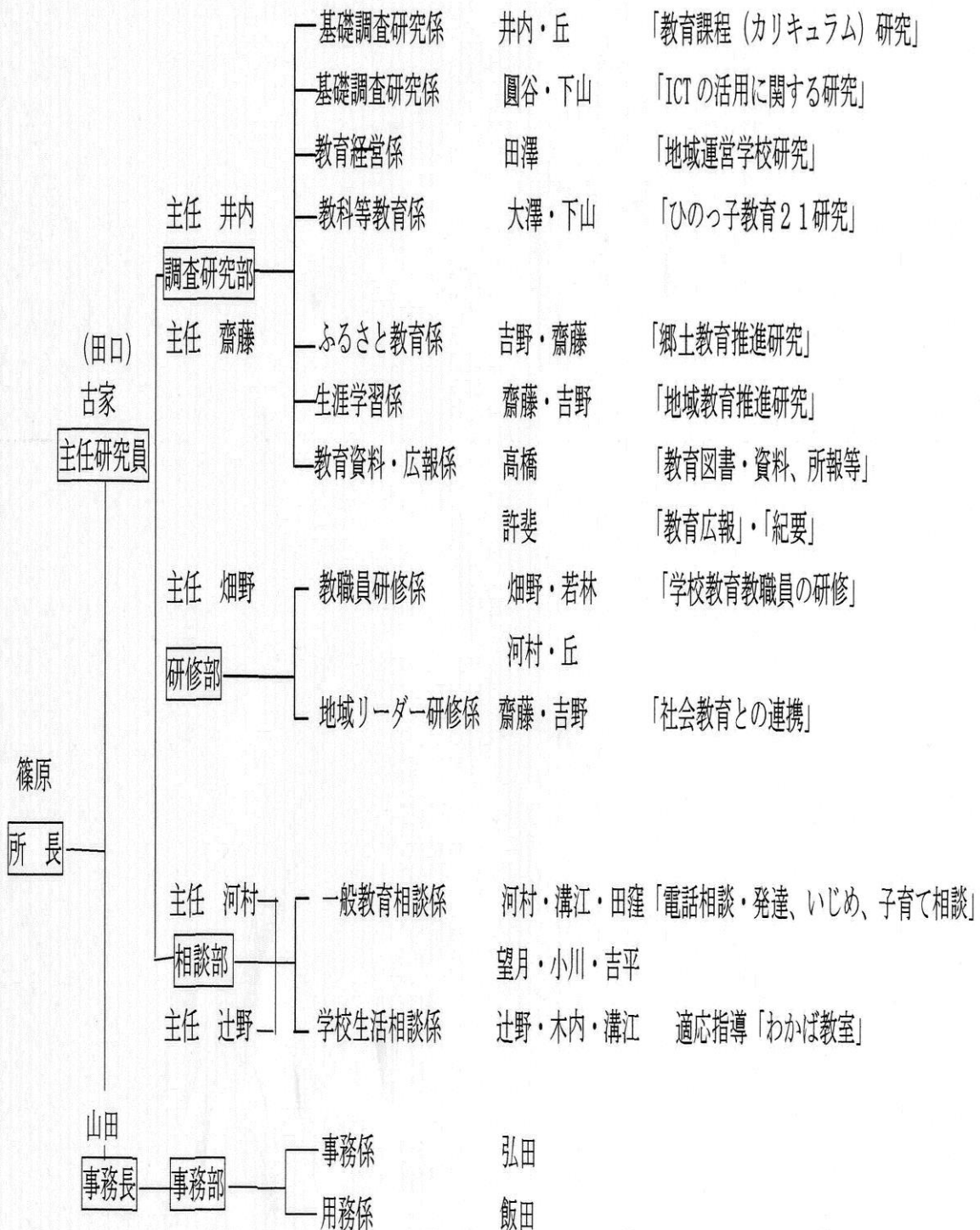
遠足、酪農体験、誕生会、スポーツ大会、音楽会、お茶会、老人ホーム訪問、地域の奉仕活動、夏休み学習会、新年を祝う会、卒業・進級を祝う会等の行事を実施しています。

感動体験の重視、自らのよさや存在への気づきの学習、定期的に行うカウンセリングは情緒を安定させ、子どもたちは、ゆるやかに自信を取り戻していきます。

※入室を希望される方、内容を知りたい方はお気軽にご相談ください。

わかば教室への連絡先 ☎ 042-592-0863 FAX 042-592-1148

教育センター組織・係



教育用：図書・VTR 各種・資料等 ご覧になりませんか？

日野市立教育センター内教育資料図書室（センター3階）には、これまでの教育関係資料が数多く収集・整理・保存されております。先生方はじめ市民の皆様方、教育について興味・関心をもたれたり、調べてみたいと思われたりしたときには、是非、当教育センター資料図書室にお出でになり、ご活用ください。

所員一同、心よりお待ち申し上げます。

ご利用に当たっては、以下のようなことにご留意ください。

どこで 日野市立教育センター
高幡台団地南西部
夢が丘小学校隣

いつ 月曜 ～ 金曜
9:00～17:00

どなたに

- * 日野市に勤務する教職員（貸し出し・閲覧）
- * 日野市民（閲覧のみ）
- * その他センター所長が適当と認めた者



手続きは 教育センター2回事務室（受付）に申し出る

貸し出しは

- * 閲覧 3階教育資料図書室で
利用カードに必要事項を記入後事務室に提出する
- * 帯出
 - 本人来所 貸し出し簿に必要事項記入する（2階受付）
 - 電話・ファックスでの申請
図書のみ学校交換便にて発送する

その他

- * 同時貸し出し図書：4冊 VTR：2本
- * 貸し出し期間：1ヶ月
- * 忘失または破損の場合は同一図書
代納または代価を弁償する



返却は

- * 本人持参
- * 学校交換便
（返却されたかどうか後で電話確認する）